

国語

中学3年

本書の構成と特色

■ 全体の構成

本書は、文章のジャンルの違いによって各単元に分けてあります。論説文は、入試の出題率も高く、また、国語の論理的な理解に役立つという理由から、特に重要な分野と考え、単元数を多くとってあります。

■ 単元の構成

一つの単元は、**学習の要点**⇒**確認問題**⇒**練成問題**の順に構成してあります。なお、学習の要点は、韻文・古典・客観事項の単元に配してあります。

◆ **学習の要点**…問題を解く際、重要と考えられる実用的な知識を確認できるようにしてあります。

◆ **確認問題・練成問題**…基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。練成問題は、入試に対応できる難易度を持たせてあります。

■ Check & Try

巻頭の「**事前に Check!**」は、基本事項を簡単におさらいできる問題で構成してあります。定着の度合いを確認することができます。

巻末の「**最後に Try!**」では、基本問題を中心にしながら、やや応用的な問題もふくめて構成してあります。本書で学習した成果を確認することができます。定期テストの準備に最適です。

CONTENTS

	学習日		学習日
事前に Check!	2	8 短歌・俳句	34
1 漢字・語句	6	9 古典	38
2 小説(1)	10	10 随筆(1)	42
3 小説(2)	14	11 随筆(2)	46
4 論説文(1)	18	12 文法	50
5 論説文(2)	22	13 総合問題	54
6 論説文(3)	26	最後に Try!	61
7 詩	30		



どうまで身についているか確かめよう！

次のそれぞれの問いに答えなさい。

1 〈漢字の成り立ち〉〈漢字の部首〉

□(1) 次の文章を読んであとのそれぞれの問いに答えなさい。

今日は、^A雨が降っていたので、家の中にいて、姉からもらった漢和辞典を使って漢字について調べた。^B三月に辞典をもらって以来、漢字練習^C帳を作り、辞典で調べたことをまとめるようにしている。こうすることで漢字に対する理^D解が少しずつ深まり、最近では、知らない漢字の読み方を類推できるところようになった。

漢字には、大きく分けて「象形文字」「指事文字」「会意文字」「形声文字」の四つの成り立ちがあり、このうち、最も漢字の読み方を予想しやすいのは **※**だ。なぜなら、この成り立ちの漢字は、意味を表す部分と音を表す部分とに分けることができるからだ。たとえば「飯」という漢字は、食べることや食べ物の意味を表す「食」と、「ハン」という音を表す「反」の二つの部分に分けることができる。「反」が「ハン」という音を表しているということがわかれば、「飯」「坂」「阪」なども、すべて「ハン」と読めると類推することができるのである。

□① ———線A～Dの漢字の成り立ちとして適切なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 象形文字
- イ 指事文字
- ウ 会意文字
- エ 形声文字

□(2) **※**に入る最も適切なことを次から選び、記号で答えなさい。

- A ()
- B ()
- C ()
- D ()

□(2) 次のそれぞれの漢字の成り立ちとして適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|----|---|-----|----|---|-----|
| □① | 本 | () | □② | 男 | () |
| □③ | 河 | () | □④ | 明 | () |
| □⑤ | 銅 | () | □⑥ | 魚 | () |
| □⑦ | 上 | () | □⑧ | 信 | () |
| □⑨ | 馬 | () | □⑩ | 間 | () |
| □⑪ | 悲 | () | □⑫ | 清 | () |
| □⑬ | 美 | () | □⑭ | 横 | () |

- ア 象形文字
- イ 指事文字
- ウ 会意文字
- エ 形声文字

□(3) 次のそれぞれの漢字の部首名として適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|------|-----|------|-----|
| □① 胸 | 〔 〕 | □② 神 | 〔 〕 |
| □③ 空 | 〔 〕 | □④ 際 | 〔 〕 |
| □⑤ 情 | 〔 〕 | □⑥ 利 | 〔 〕 |
| □⑦ 無 | 〔 〕 | □⑧ 質 | 〔 〕 |
| □⑨ 次 | 〔 〕 | □⑩ 補 | 〔 〕 |
- ア こざとへん イ しめすへん ウ ころもへん
 エ にくづき オ あくび カ りつとう
 キ かんむり ク れつか(れんが) ケ あなかんむり
 コ かい サ おおざと シ りっしんべん

□(4) 次の①～④は、何という漢字についての説明ですか。それぞれあとから一つずつ選び、書いて答えなさい。

□① そのまま「へん」として部首になる。また、この漢字と同じ意味の部首を持つ漢字には「照」などがある。成り立ちは象形文字。

□② 漢字自体は「緊張を解いて身体をかばう」「仕事や働きをやめる」といった意味を持ち、部首は「人」という意味を持つ。

□③ そのまま部首になっていて、部首の名前は漢字自体の音読みと同じである。似た意味を持つ漢字に「両」「双」「再」などがある。

□④ 「さえぎる・ふせぐ」という意味を持つ漢字。意味を表す部分が部首で左側にあり、音を表す部分が右側にある。部首は、漢字の右側にある場合は「おおざと」と呼ばれるものである。

日	上	際	代	火	二
都	休	三	昭	障	仕

2 (熟語の読み方)

□(1) 次のそれぞれの熟語の読み方として最も適切なものを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。(同じものを何度でも選べます)

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| □① 本屋 | 〔 〕 | □② 店番 | 〔 〕 |
| □③ 薬指 | 〔 〕 | □④ 登山 | 〔 〕 |
| □⑤ 坂道 | 〔 〕 | □⑥ 道路 | 〔 〕 |
| □⑦ 雨具 | 〔 〕 | □⑧ 毎年 | 〔 〕 |
| □⑨ 宝石 | 〔 〕 | □⑩ 弱気 | 〔 〕 |
- ア 上の字も下の字も音読みをする。
 イ 上の字も下の字も訓読みをする。
 ウ 上の字は音読み、下の字は訓読みをする。(重箱読み)
 エ 上の字は訓読み、下の字は音読みをする。(湯桶読み)

□(2) 次のア～エのうち、三つは「音読み+音読み」の熟語ですが、一つは「音読み+訓読み(重箱読み)」の熟語です。「音読み+訓読み」の熟語を選び、記号で答えなさい。

- ア 重機
 イ 芸能
 ウ 団子
 エ 悪事
- 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕

3 〈熟語の組み立て〉

□(1) 次の熟語の組み立てとして適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|----|----|---|---|----|----|---|---|
| □① | 高校 | 〔 | 〕 | □② | 暗示 | 〔 | 〕 |
| □③ | 平等 | 〔 | 〕 | □④ | 動静 | 〔 | 〕 |
| □⑤ | 発熱 | 〔 | 〕 | □⑥ | 国立 | 〔 | 〕 |
| □⑦ | 私的 | 〔 | 〕 | □⑧ | 不問 | 〔 | 〕 |
| □⑨ | 速報 | 〔 | 〕 | □⑩ | 帰郷 | 〔 | 〕 |

ア 似た意味の字を重ねている組み立て。

イ 反対の意味の字や対になる字を重ねている組み立て。

ウ 上の字が下の字を修飾しゅうしょくしている組み立て。

エ 下の字から上の字に返って読むと意味がわかる組み立て。

オ 上の字が下の字の意味を打ち消している組み立て。

カ 長い熟語を省略している組み立て。

キ 上の字が主語、下の字が述語になっている組み立て。

ク 接尾語がついた組み立て。

□(2) 次の熟語と組み立てが同じ熟語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 読書

□② 必要

□③ 不在

□④ 話題

□⑤ 思考

□⑥ 入試

- | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|
| ア | 緑化 | イ | 国営 | ウ | 創造 |
| エ | 農協 | オ | 曲線 | カ | 非常 |
| キ | 登山 | ク | 軽重 | | |

4 〈語句(ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語)〉

□(1) 次の①～⑤のことわざと似た意味を持つことわざを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|----|---------------|---|---|
| □① | 二兎を追う者は一兎をも得ず | 〔 | 〕 |
| □② | 医者の不養生 | 〔 | 〕 |
| □③ | 馬の耳に念仏 | 〔 | 〕 |
| □④ | 猿も木から落ちる | 〔 | 〕 |
| □⑤ | 弱り目にたたり目 | 〔 | 〕 |

ア けがの功名

イ 弘法にも筆の誤り

ウ あぶはち取らず

エ 二度あることは三度ある

オ 紺屋こうやの白袴しろはかま

カ 命あつての物種ものたね

キ 焼け石に水

ク 提灯ちようちんに釣鐘つりがね

ケ 犬に論語

コ 魚心あれば水心

サ 泣き面に蜂はち

シ 知らぬが仏

ア 鼻を折る

イ 目を皿にする

ウ 足が出る

エ 眉をひそめる

オ 頭が下がる

カ 手塩にかける

キ 口車くぐりに乗る

ク 腕を上げる

□(2) 次の①～③の文の□に入る最も適切な慣用句を、それぞれあとから選び、記号で答えなさい。

□① 彼の失礼な言動に□。

□② 彼女の努力家ぶりには□。

□③ 想定外の出費がかさみ、旅行で□。

- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| ア | 鼻を折る | イ | 目を皿にする |
| ウ | 足が出る | エ | 眉をひそめる |
| オ | 頭が下がる | カ | 手塩にかける |
| キ | 口車に乗る | ク | 腕を上げる |

□(3) 次のことばが慣用句になるように、それぞれの□に入る適切な漢字一字を書いて答えなさい。

□① 青菜に□〔 〕

□② □をすっぱくする〔 〕

□③ 打つ□がない〔 〕

□(4) 次のそれぞれの熟語と最も関係の深い慣用句をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 至近〔 〕

□② 疲労〔 〕

ア 口を切る イ 目と鼻の先

ウ 手を貸す エ 顔が広い

オ 足を洗う カ あごを出す

□(5) 次の①～④の意味にあてはまることわざ・慣用句をあとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

□① 何かのきっかけで急にその事柄を理解できること。〔 〕

□② 相手の出方次第でこちらにも応じ方があること。〔 〕

□③ 不意のできごとに驚くこと。〔 〕

□④ よい機会を逃さずに利用すること。〔 〕

ア 目を皿にする イ 耳が早い

ウ 魚心あれば水心 エ 船頭多くして船山へ登る

オ 寝耳に水 カ 目からうろこが落ちる

キ 得手に帆を揚げる ク えびで鯛を釣る

ケ 目が高い コ 小耳にはさむ

□(6) 次の①～④の文の□に入る最も適切なことばを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 河川開発は、自然破壊に□をかける結果となった。〔 〕

□② これまで□をなめてきた彼の話は、人々の涙を誘った。〔 〕

□③ 二人の実力は□していて、優劣をつけがたい。〔 〕

□④ 初めて山頂に立った時の感激は□に尽くしがたい。〔 〕

ア 伯仲 イ 頭角 ウ 背水
エ 拍車 オ 辛酸 カ 筆舌

□(7) 次のことばは、どちらも二つある□に同じ漢字一字が入って四字熟語になります。それぞれの□に入る適切な漢字一字を書いて答えなさい。

□① 右□左□〔 〕 □② □業□得〔 〕

5 〈漢字の読み分け〉

□(1) 次のそれぞれの組から、――線部の漢字の読みが一つだけほかの三つとはちがうものを選び、記号で答えなさい。

□①〔ア〕作業 イ 動作 ウ 所作 エ 工作

□②〔ア〕治安 イ 自治 ウ 政治 エ 治水

2 小説 (1)

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) 赤門は東京大学の、朱塗りの門。

〈畑正憲「ムツゴロウの青春記」より〉

□(1) ①・②に入る適切なことばを、次のそれぞれの語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① ア 家庭的 イ 勉学的 ウ 金銭的 エ 精神的
- ② ア 象徴 イ 権威 ウ 教授 エ 大学

①
②

□(2) 線①「これほど自堕落な、愚劣な発想があるか」とありますが、「自堕落」で「愚劣」な発想だと「私」が批判するのは、どういう発想が欠けているからですか。その理由として適切でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ひたむきに生きる発想が欠けているから。
- イ 世間の常識に沿って生きる発想が欠けているから。
- ウ 夢へと這ってでも近づく発想が欠けているから。
- エ 常に前を向いて歩く発想が欠けているから。

□(3) 線②「いくつになっても」が直接修飾する文節を、本文中から一文節で書き抜いて答えなさい。

--

□(4) 線③「その生活」とは、どんな生活ですか。「息子」「妻」ということばを必ず用いて、「生活」という形で、二十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

生活。

□(5) 線④「これでも赤門出なのだから」ということばには、文字通り「赤門から出た」という意味のほかに、もう一つどのような意味が込められていると考えられますか。「こと」という形で、十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

こと。

□(6) 線⑤「母はへたへたと座りこんでしまった」とありますが、その理由を、「夫の合格」「家計」「緊張」ということばを必ず用いて、「から」という形で、四十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

から。

□(7) 線⑥「私は何度も父を投げ飛ばし、大地に叩きつけた」とありますが、「私」のこの行為にはどのような気持ちがかめられていますか。次から最も適切と考えられるものを選び、記号で答えなさい。

- ア 母をはじめ自分たちに、長年苦勞を強いてきた父へのいかり・うらみの気持ち。
- イ 父の長年の苦學中に、自分がこれほど大きく、強く育ったことを思い知らせたい気持ち。
- ウ 「私」の、他の表現方法を思いつかないままの、手荒いが喜びの爆発するような気持ち。
- エ 壯年となって刻苦の結果、栄冠を勝ちえた父に、自分は将来負けるものかという気持ち。

--

●
練成問題

- ① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

